

住民の避難行動に結びつく情報発信のために

R5.3.13

～「近畿地方メディア連携協議会 勉強会」を開催しました～

近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター

- 近畿地方メディア連携協議会は近畿地方整備局・大阪管区气象台・各メディア報道関係者で構成しており、住民の避難行動に結びつく情報発信を目指して活動しています。
- 3月13日(月)に、「洪水キキクルと水害リスクラインの一体的表示」、「大和川の防災対策」、「線状降水帯による大雨の発生と予測に関する取組の強化」の3題を話題提供しました。

近畿地方メディア連携協議会 勉強会の概要

- 日時: 令和5年3月13日(月)10:30~12:00
- 開催形式: 集合・Web(Teams)併用開催
- 場所: 大手前合同庁舎(近畿地方整備局)
- 出席者: 50名 うちメディア出席団体: 13社(計33名)

株式会社朝日新聞社／朝日放送テレビ株式会社／関西テレビ放送株式会社／JCOM株式会社／株式会社テレビ和歌山／株式会社奈良新聞社／株式会社日刊建設工業新聞社／日本放送協会 大阪放送局／日本放送協会 奈良放送局／びわ湖放送株式会社／株式会社毎日新聞社／株式会社毎日放送／読売テレビ放送株式会社／(五十音順)

勉強会の内容等について

- 洪水キキクルと水害リスクラインの一体的表示(近畿地方整備局 説明)
- 大和川の防災対策(大和川河川事務所 説明)
- 線状降水帯による大雨の発生と予測に関する取組の強化(大阪管区气象台 説明)

おもな質疑

- 水害リスクラインの色が左岸右岸で異なるのは、堤防の高さが異なるためか？
⇒ ご認識のとおり。また、山付きの部分など、氾濫が発生し得ない場合はグレーに表示している。
- 水害リスクライン表示による黒色が出た場合は、実測または計算で堤防を越えているという認識でいいか？
⇒ ご認識のとおり。
- 大和川流域水害対策協議会は、大阪府内の市町村は参加していないのか？
⇒ この協議会は奈良県域を対象にした協議会である。大阪府の市町村は、流域治水協議会等に参加いただいている。

【問合せ】国土交通省近畿地方整備局水災害予報センター
〒540-8586大阪市中央区大手前3-1-41 TEL06-6942-1141(代表)



住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト